

谷藤EYE通信

No.37
2010年
(平成22年)



母の味

院長 谷藤泰寛

今年も早くも冬の季節を迎えました、けた外れの夏の暑さの後の冬の気候はどうなるのか、やはり暖冬なのか興味があります。今年の秋の話題の一つは、米もそうですが、松茸も豊作でしたが、例年より香ばしさが少なく地物の感じが少ないように感じたのは、酷暑が原因だったのでしょうか。

最近当院に通院中の方から非常に綺麗な図譜入りの郷土料理の本を頂戴しました。それもその筈、著者・編者の田中文子さんは才能ある画家が本業ですが、本の題名は「のこしてくれた 母の味、〔杜陵高速印刷〕」です。その前書きにもありますが、現在の乱食、飽食の時代のさなか、手軽に国内はもとより世界中の食材が安易に食される半面、真に美味しいものや、体にいいものを食べているのかという疑問に突き当たります。スローフードやアグリツーリスモなどと、もてはやされる以前の郷土の日本

の懐かしい母親の味が美しい写真入りで列挙されています。

例えば、凍み大根や山菜の煮しめ、そばがき、魚では、どんこの鱈やどんこ汁など、先ずはご一読をおすすめします。その中から、香茸〔地元では「ばくろう」とも呼称〕の料理として、これもまた当院に通院中の方のくるみ和えのレシピが載っていました。香茸は真っ黒で、ざらざらした見かけで、強い匂いがし他地域では食されないこともあるようですが、この料理に挑戦してみました。砂糖と醤油、お酒でじっくり煮込んだものですが、つくだ煮風で、ご飯によくあいます。いずれにしろ、地場の旬の食材で彩り豊かで、カロテノイドやミネラルに富み、肥満予防にも良い郷土の食を常にとることが、白内障や加齢黄斑変性の予防にもつながるのではないのでしょうか。



香茸 (こうたけ)



香茸のくるみ和え

副院長 寺井典子

平成 22 年 8 月 13 日から 4 日間、久しぶりにベトナムへ服部先生を訪ねてボランティア活動に参加してきました。ハノイ国立眼科病院、ハノイ市立病院とハノイから車で 3 時間ほど海側に向かったハイフオンの眼科病院の 3 か所の病院に行ってきました。

3年ぶりのベトナムは明らかに変わっていると感じました。まず、街を走る車やバイクの量が増え、自転車に乗っている人が減り、高級車も見かけました。2 か月後の 10 月に李朝を樹立した李太祖 (Ly Thai To) が 1010 年に遷都してから今年で 1000 年になることを記念する行事がハノイで開かれるとの事で、東京オリンピック前の日本さながらの建設ラッシュで、高層マンション群や新しい 4 車線の橋が 2 つも新設されていました。

病院の手術室も最新型の顕微鏡や手術機械も、一部ではありますが導入されていました。ハイフオンの眼科病院では、2 年前は白内障の手術を勉強中だった先生が年間 1000 例を執刀する白内障のスペシャリストになっていたのには驚きました。

一方で、変わらないベトナムならではの光景も見受けられました。外来では順番はあってないようなものでして患者さんが押し掛けます。機械のメンテナンスも相変わらず行き届いてませんので、故障はしょっちゅうでした。

それにしても、ベトナムの人は皆さん明るく前向きな様に感じました。以前はカメラを向けると恥ずかしくて隠れる人が大半でしたが、今回はその様なことは少なくなりました。今年の 12 月には、後発途上国扱いだっただベトナムが「中所得国」に認定されたとの事です。このような事が個人個人の自信にもつながっているのかも知れません。たった 2 年で、いろいろなものが様変わりする国というのは、やはり勢いがあるのだと思いました。



眼科外来風景



鶏は
生きたまま
売られます



4人乗りもOK!



昼食風景

新人さん紹介



及川めぐみ (おいかわめぐみ)

6月に入社しました及川と申します。趣味は、登山とボウリングです。今年は5山しか山に登りなかつたので、来年は体力作りもかね15山は登りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



川村 綾子 (かわむらあやこ)

9月から谷藤眼科にお世話になっております川村綾子です。今まで経験したことのない職種で悪戦苦闘の毎日ですが、皆さんに丁寧に仕事を教えていただいたお陰で、少しずつですが仕事の内容を把握してきたところです。これからもご迷惑をおかけすることと思いますが、よろしくお願い致します。



見當 識衣 (みとうのりい)

初めまして、見當識衣と申します。以前は内科に勤務しており、眼科の分野は初めてですが、早く仕事を覚え、みなさんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。好きなことは食べ歩きで、特にお米が好きなので、ごはんによく合う料理が好きです。おすすめのお店がありましたら、ご一報お待ちしております。思いやりの心で患者様に接していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



深澤 誠 (ふかざわまこと)

今までは千葉県の眼科で働いていました。縁あって岩手県に移り住むこととなり、谷藤眼科で働くことになりました。まだまだ未熟者ではありますが、眼科の検査、病気などについてわからない事があれば、どんな小さなことでも聞いてください。逆にまだ岩手に住んで日が浅く土地勘もないので、教えて頂けたら幸いです。今後ともよろしくお願い致します。

お知らせ

- *平成22年 9月13日 看護補助 川村綾子入社
- *平成22年 12月20日 看護師 摂待育子退職
- *第34会日本眼科手術学会総会(京都市)
平成23年1月28日(金)～30日(日) 参加予定;谷藤泰寛院長・篠村善幸看護部長

報告

- *第26回日本眼科看護研究会(福島県)
平成22年9月11日(土)～12日(日) 参加者;櫻田亜佐子看護主任・相原栄子
- *第28回欧州白内障屈折手術学会(フランス;パリ)
平成22年9月5日(日)～15日(水) 参加者;谷藤泰寛院長
- *第64回日本臨床眼科学会(神戸市)
平成22年11月11日(木)～14日(日) 参加者;谷藤泰寛院長・早坂悦子看護師長
- *第326回岩手眼科集談会(盛岡市)
平成22年11月20日(土) 発表者;谷藤泰寛院長
演 題;「前房蓄膿がみられたシェーグレン症候群2例」
参加者;寺井典子副院長・深澤誠視能訓練士
- *医療機関永年勤続優良従業員表彰(盛岡グランドホテル)
平成22年11月20日(土)
表彰者;早坂悦子看護師長(25年)・櫻田亜佐子看護主任(20年)
山本早弥香検査主任(5年)・石原英治看護師(5年)

No.37:平成22年(2010年)10月・11月・12月号



医療法人泰明会 谷藤眼科医院

〒020-0127 岩手県盛岡市前九年2丁目2-38

TEL: 019(646)2227 FAX: 019(645)3811